

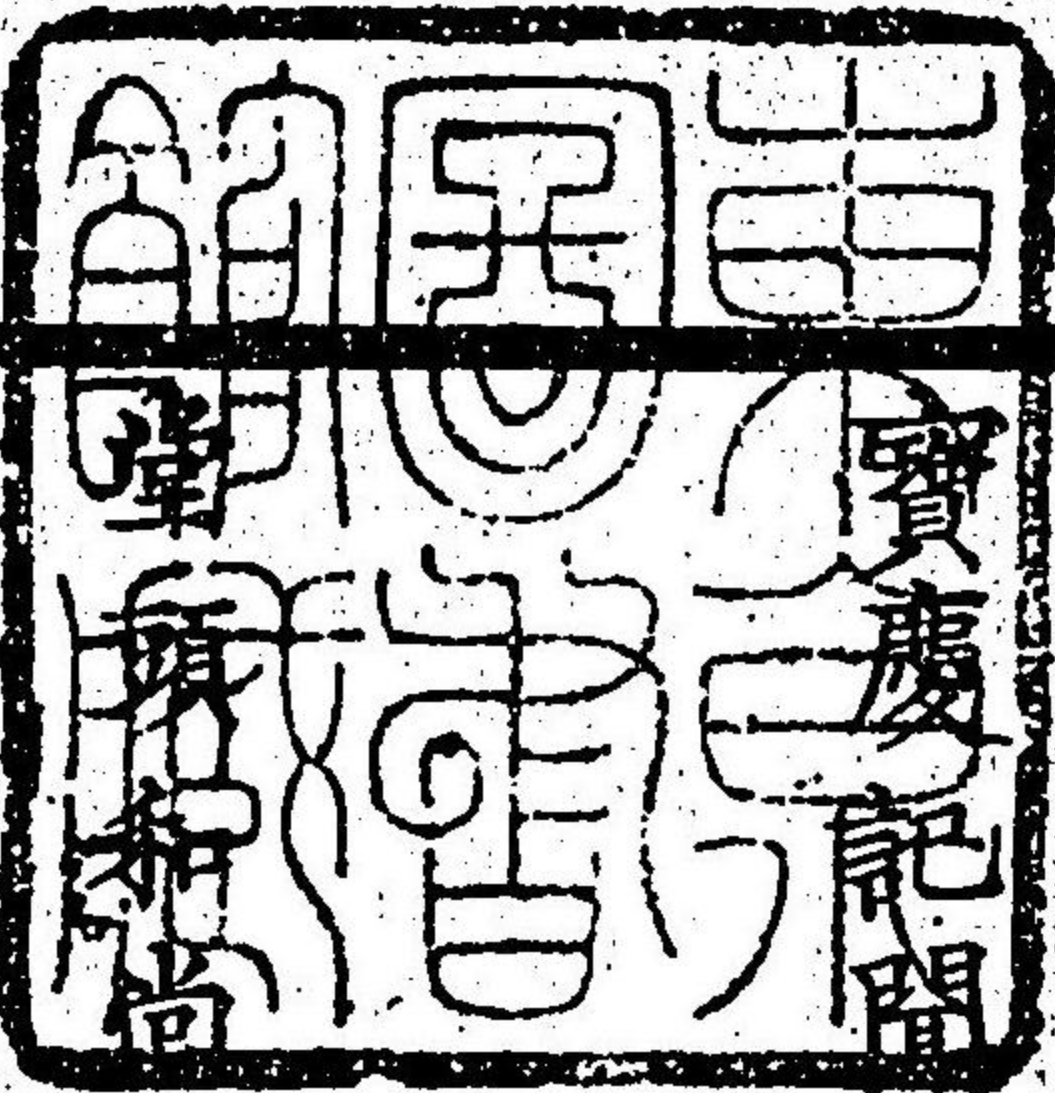
6

194

東 京 圖 書 館

二	一	五	六		
冊	九	架	函	屬	類
	四				
	号				

精方
 面山
 講義
 記
 實慶
 記
 聞
 解
 一
 名
 隨
 聞
 記
 坤



寶慶記聞 解坤一名隨聞記

瑞方面山講義

銚 芥山筆記

示了義本事本性ト云ガ十二部ノ中ニ入ル
十二部ト云ハ大乘ナリ、コノ十二部ノ内ニ三ツ除クト、小
乘經ト云ニナル、法花ニ我此九部法トアル九部ナリ、大乘
經ハソレニ三ヲソヘテ、十二部ニテ説シヤル、十二分教ト
云、ユヘニ大乘經ハ小乘經ニ三ツソヘル也、大論卅三卷目
ニ具ニ出ス、本事本性トハ、本事經本性經ト云カアル、法花
ニアル伊帝目多加ヲ翻メ、本事ト云フ、闍多加、翻ノ本性ト
云フ、本事ト云ハ、如來ノ因地ノ修行ヲトカシヤル、今釋迦

如來ハ、久遠劫已前ニ成佛ナサレテ、ナニ如來云々ト云フ
ヲトク、三藏法數ニ引、大論云、本事ハ謂說諸菩薩弟子因地
所行之事如法花經中本事品、藥王菩薩於日月淨明德佛所
得歡喜云々是也、本性謂諸佛并本地受生之身、如涅槃經云
比丘當知我於過去、作鹿熊羆兔龍、及作金翅鳥、粟散王、轉輪
聖王、之類是也、云々、コノ本性ニハ、釋迦如來ノ過去テ、阿私仙
人ニ仕ヘタマフヲ說ナサル、本事本性ナンテモ残り
ノナイ様ニ、說シヤレタルヲ了義云フ、其ノ往古ノ過去ノ
因縁ヲ、トカシヤルニ、或說一名バカリ說テ、姓ヲトカレヌ
姓云ニ四イロアリ、雖說南閻浮洲ニ、コサル云テモ、壽命
ヲトカシヤレヌ、コノ様ナハ、三ナアトニ、マダノコツタ了

義トハ、イワレヌ也、說劫一劫名ヲ、ナント云ソノ國ヲ何云
壽命ハ、イツマテ、眷屬弟子名ヲ說、作業ハ修行ナサル、業
奴僕ハ釋迦ノ時ニ、專匿出家ノ御供シタリ、コノ様ニ何ン
テモ、ノコラヌ様ニ說タヲ了義云フ、コノ了義不了義ノワ
ケハ、淨祖ゴ一分ノ思召、經論ニ依テ、マダコノ分チ様ガ違
スグニ今日一超直入如來地ノ道理ヲ說レタヲ了義ト云、
厭離穢土、欣求淨土次第ヲヘテ、極樂ニ往生セバ、成佛ナ
ラヌ云フ、不了義ト云フ、
拜問、縱雖一言一永祖ノ台家ノ法門ヲ覺テゴザルユヘ、此
問出ソ、私カ了簡ワ、一言テモ半句テモ、佛法ノ道理ヲ說テ、
シマウヲ了義ト、一超直入如來地、無上大涅槃ノ般若波羅

蜜、ミナ了義ト名クベシイカン、如何イ廣ク説ヲ、御前へハ、
 仰セラル、了義ト名付ルハ、イカント也、縦説イ瀑布ノ異名
 ヲ懸河ト云、ソノタキノ落ル様ニト、コヲリナク、佛法ヲ
 トイテモ、未明イ義ト理トヲ明ヌハ、不了義ト存スル、
 堂頭和尚示メ云、汝言イソレハ無理ジヤ、ナセナレバ、世尊
 ノ所説ハ、廣説モ、畧説モ、道理カツキル、於其義イ義ト理ト
 ニ付テ、フンツマリ迄テ、説カシヤレヌ云、ハナイ、口ヲ開
 テ説ハ、イヨダノ、乃至聖黙イ、ダマツテゴサルモ、道理ガ
 盡ル、聖黙ト云ハ、梵天思益所問經ニ、出、涉典録第四卷卅九
 駟馬卷ノ下ニ出、聖説ハ一代藏教ヲトカシヤルノモ、又聖
 黙モ、佛事ヂヤ、ソノ様ニ、廣説イ畧説イ長イ短イノ云、ハ

ナイ、マタ如來ノ塚テ、御身ガシラス云モノ、タ、説バカリ
 ヲ佛事ト思フガ走テナイ、ナゼナレバ、所以イ光明ヲ放サ
 シテモ佛事ヂヤ、一切衆生ヲ度脱シ、成熟スルヲ佛事ト云
 フ、飯食イ金剛經ニ飯食一切衆生ヲ度スル、佛更カツキル
 生天イ兜率ニ生ル、ヲ生天云兜率ヨリ下ラル、ヲ下天
 云フ、出家イ知レタ通り、分衛ハ托鉢ニ出ル、一住ノ化度
 ガ盡、涅槃ニ入ラシヤル、コレカスツキリ佛事ヂヤ、スツキリ
 了義ノ大乘經、佛々祖々正傳ノ坐蒲團ニ安住スルカ、聖黙
 ギヤト宏智ノ仰セラル淨祖ノ言バニ、衲僧打坐ノ時、盡十
 方世界ノ、一切ノ諸佛ヲ、供養スル、ナニヲ供養スルヅナレ
 バ、衣服、卧具、飲食、香花、燈明ト、ナツテ、坐ノ功德ガ諸佛ノ前

ニ上ル、思益梵天經ニアル様ニ、如來ハ何シテモ了義ジヤ、
ナセナレバ、コノ事々ノ上テ、道理カスツキリ盡テアル、了
義デ無イモノハナイ、於其中、廣説テモ畧説テモソノ中
デ、スツキリ説キ了ヲ了義云フ、コレガ乃、コ、テ永祖ノ覺
テゴザタト、大キニ違フク、非ヲ知ラシヤレタ、
道元、保任和尚ノ慈誨ノ通り、マモリマシヤウト也、闕人
ハヒマナ、何ンニモ用タ、又云フ、コレラカ云フ、何ノ道理
ハゴサラヌ、道元、私シノ覺ヘテ居タハ不了義ノ上テ了
義ト合点イタイテ居リマシタ、今日、和尚輪下デ、御尋申
シテ、了義經ノ向上ニ、ソノ上ニ了義經アツテ、分明ナル
ヲ、知リマシタ、可謂、コレハ一劫ヤ二劫デ逢フコトハナ

ラヌ、大因縁デゴザル、輪下ノ字ハ佛祖統記ノ中ニ有テ、請
學輪下アリ、轉法輪ノ下トスマスハ非ナリ、輪ハワ云字デ、
學者ノ大勢アル處ノ主人ハ、前後左右ニ人ガトリマワイ
テアル、ユヘニ輪下ト云フ、ソノ中ニ交ル也、本ハ俗書ノ字
ナリ、
拜問、能礼、甚深ノ道理上ニ説クカ如、能礼ノ開山モ、所
礼ノ淨祖モ、タツタ一枚ニナルヲ感應、云、開山ノ方ニ感
カアレハ、淨祖ノ方ニ應スル也、能ト所ト分レヌ處カアル
コ、ヲ難思議云フ、今日コノ方ノ法益テモ、聽クモノハ能
聞、トクモノハ所聞、又コノ方ガ説クノハ能法、皆ガ所^キハ
所説ナリ、説クモノハ心ハ、キクモノハ心ノ中ニ入ル、キクモ

ノ、心ハ説クモノ、心ノ中ニ入ル、キクモノト、説クモノト、一救水中ノ月ノ如ク、ドウモイワレヌ、コノユヘニ、難思議シヤ、宏智語、犀依翫月、紋生角、象被驚雷、花入牙、伝カ道交也、雖有イフカイ意カアツテモ、コマカニ合点ガマイラヌ、疑イマス、謂イ元ト開山ハ教者テ、コサルユヘ、佛祖ノ道ト同様ニゴザルガ、開山ハ能所斗リヲ仰セラル、淨祖ハヒロク仰セラル、

堂頭和尚示誨云、イイマ云様ニ、トクモノ、法カ、キクモノノム子ノ中ニウツル、キクモノ、心カ、トクモノト感應道交スル、コレヲ旨トスルト云フヲシラレイ、ソレバカリテナイ、諸佛不イ諸佛トクモ、キク衆生ガ無レバ出ヌ、佛カ出

世シテモ、下ニ衆生ガナケレバ利益ガナイ、衆生モ佛ノ出世ナサレヌト、聴ク處ノ法カナイ、ユヘニ諸佛出世ト云ハキクベキ衆生カ生レテ出タ、時ニ出世ナサル、コウ感應同交セ子バナラヌ、祖師イ二祖ノ生シシタ片、達磨カ來ル、達磨ノ來リ走ナ時ニ、二祖カ生ル、啐啄同時シヤ、二祖斗デモナラヌ、達磨斗リテモナラヌ、スツキリ感應道交ノ道理、シカアレバ、今日一言半句テモ、大法ヲ听ク伝モノハ、無量劫來ノ大因縁ガ無レバ、キク一ハナラヌ、感應道交伝モノハ、ソバカラトメル一モナラヌ、永祖ノスマシ様ハ、ザツトシタ一デ在、タコ、デ我ヲ折ラシタ走ナ、不可イ道元ソナタガ、イツデモ、教家カ談スルト云テ、ドウヤラ、教家ヲ、

怨家ノ様ニ思フ走ナ、左ニハアラヌト也、付法藏ノ迦葉カ
ラ、廿八傳ノ達磨迄テ、傳ヘテキタカラハ、經家伝モ、達磨手
中ニアル、若以テ可用トソナタメ、袈裟ハ圓イカ、應量器ノ
四角ナカ、圓衣方器ハ俗人ノト、衣モ丸器モ角ナ、出家ハ圓
頂方袍チヤ、俗服ヲヌイニ、方袍ヲキテ、圓器ヲ用ル、コレハ
元ト經中ニ有ルコト、未用トケレ、圓衣方器ヲ用サシヤ
ラヌデハナイガ、須知トコウシタユヘ、如來ノ塚ト佛弟子
ノ塚ト、感應道交伝トヲ、必定シテ知レ、ソレヲ教家モ、又談
スト云ハ、教論ヲ用ヒヌ様ニアルト、元トニモトル也
并問先日ノ上方ニ教家ヲ別ナトノ様ニ、永祖ノ覺ヘテ、
ゴザツタヲ、教法ヲ以テ、非トスルナト、仰セラレタカラ、コ

ノ問ハ、育王ハ五山ノ一ツ、難問トシ、開山カラ、難問カケラ
レテ、クツトツマラレタト、建撕記ニ出ズ、コノ下ノ記ハ、シ
レタト、大光ハ淨祖ヨリ後輩也、續傳灯ニ傳ハアルガ、大光
トハナイ、悟光トアリ、支那デハ、光ノ字ダニチガワ子バ、頭
字ハカマワス也

堂頭和尚ト唯、非大光一人、妄談ハウソ也、諸方ノ長老カ、ミ
ナソウ、合点シテ居ルソノモノ共ガ、白イ黒イテ、見分ケタ
モノハナイ、マシテヤ、那知ト達磨ノ室中ニ入テ、ソノ奥ノ
手ヲ、夢ニモシラヌ、ナセナレバ、經論ヲ學セズニ、禪斗リ云
ト、大キナ取リダガヒガアル、藥山ノ處ニ雲岩道吾、船子三
人カ、隨侍アリテ、ソノ頃、惡王カ會昌沙汰ノ時、船子ハ船頭

ニナツテゴザツタ、ソウシテ、船子道吾ニ、ヲタノニハ、ヨイ
 座主カ、アロウナラバ、ヲレガ所ニヤツテクレイ、ヲレモ嗣
 法ノ弟子ガ獨リホシイト思フ、ソレカラ、道吾ノ夾山ヲ指
 揮シテヤラレテ、船子ニ嗣法メサレテノチニハ、臨濟門下
 ノ一隻箭ト云ハレタ、洛浦ノ様ナ人ガゴザツテ、服膺シテ
 嗣法ナサレタ、コレモ教者デ、ソレカラ、禪ヲ學ダユヘ也、胡
 亂ハエヒスノ國カラ、軍サソナヘモ知ラスニ、メツタニキ
 テ中國ヲ亂ス、是モ非モ知ラズニ、カキ亂スヲ云フ也、倣來
 倣ト作ト同ジ、メツタムシヤウナ、仕形ト云フ
 拜問、佛法、佛祖正傳ノ、大法ガ、嫡々相承ノ、淨祖マデ五
 十代根本ハ、迦葉ナリ、文殊ト迦葉ヲ雙ベタトキハ、迦葉ハ

聲聞テ、文殊ハ菩薩也、ツレユヘ、コレヲ決斷ナサル、トミ
 ヌ結集ト云ハ、如來ノ入滅後、諸方ニチリテアリシヲ、拾ヒ
 集メテ一代藏經ニナサレタ、コレニ、文殊結集、阿難結集ノ
 二通リアリ、文殊結集、大論金剛仙論菩薩處胎經ノ中ニ出
 テアリ、阿ノ迦葉ノ結集ハ、付法藏經ノ入口ニ出テアル、文
 殊結集ナレバ、阿難結集ヨリ高イ、阿難ノハ低イト思フ、正
 傳ハ、文殊カラ傳リソウナモノカ、迦葉カラ傳タハ、小乘テ
 ハナイカ、大乘ナラバ、文殊結集ガ傳リソウナモノト云、趣
 意ヲ以テ、問ハンヤル六卷泥洹經ノ中、付屬文殊乃至迦葉
 及阿難トアリ、ソレヲ一方ニカタツケテ、今日ハ迦葉カラ
 ック也、如來ノ背ニ腫物ノ出來タ時、如來ノ文殊ヲシテ、代

テ四衆ノ為メニ、説法メサレイト、アツテ、如來ノ名代ニ、説
法セラレタ、ソコテ如來ノ正法眼藏ハ、文殊及迦葉阿難ニ
付屬ストアリ、ソレヲ文殊ノ結集ハ大乘阿難ノ結集ハ小
乗チヤト、推量スルナリ、文殊結集ト云カアリハスレモ、ア
ラハニデ又、迦葉阿難結集ハヒロウ出テラル、迦葉ノ須弥
山ノ頂テ、大健稚ヲ鳴シ、ソレト共ニ、ワメカレタレバ、ソノ
音ト鐘ノ音トガ一ツニ、イツテ告タ、ソレカラ、八億八千集ッ
テ、ソレヨリ多聞第一ノ阿難ノ座ニ登テ、如是我聞ト云テ、
法花ナレバ八卷、イハシヤルト、一言半句テモ、八億八千ノ
羅漢達カ、如來ノ説トチガハヌ、遠カラ听タ、羅漢ハ三疑ヲ
生ヌ、如來ノ現シテ、説法ナサル、カト疑イ、阿難成佛スル

カトウタカフ、又他方ノ佛カ、來リタマウカト疑フ、文殊釋
尊一普超三昧經曰、佛言我今得皆文殊之恩、本是吾師過去
無央數佛、皆其弟子、當來者亦是、恩カ所致、文殊乃佛道中ノ
父母也、爾時衆念、文殊既在佛前、何不成佛耶、佛言、文殊深入
善根、廣化衆生、故未取道、一覽ノ七ニアリ、然レハ一切諸佛
モ、ミナ文殊ヲ師トナサル、五十三佛ノ中テ、歡喜藏摩尼
寶積佛、又功德藏摩尼妙光如來、アツテ、折々成佛ナサ
レタ、菩薩ナリ、今日ハ釋迦如來ノ助化ニナツテ、出ラレタ
モ、アリ、コレハトウシタフトレバ、釋迦如來ト、文殊ノ塚ト、
チツモ替ラヌ、釋迦如來ト、カワラヌ、塚デ無レバ、甚深ナ
ヲ尋ル、カナラヌ、ユノ甚深ナ、ヲ尋テ、ソノ答ヲモ、一切

衆生ニキカセタイ云フ、大願ヲ起サシヤル、ユヘニ一切衆
生カ、大解脱門ヲウルナリ、花嚴經ニハ、不壞菩薩ト云ト、普
賢菩薩ト云ト、二人出テ問答サシヤルハ、花嚴ノ堺ノ廣大
ナトヲ、トカシヤルヲ、一切ノ菩薩カ合点ガ、イカヌユヘニ
菩薩方が出テ問答ナサル、ナリ、不壞菩薩ノ、普賢菩薩ニ、
二百色御尋ナサレタレバ、普賢ノナルホト甚深ナ道理ガ
コサル、中々微細ニ説イテハ、廣大ニメ合点カイクマイカ
ラ一色ニハツ、申走トテ、二百ノ問ニ二千ノ答アリ、法藏
ノ不壞、雲ノ如二百問ヲ起セハ、普賢波ノ如クニ、二千ノ答
ヲソ、グト、仰セラル、地上ノ芥ニナツテハ、ドノ様ナ廣大
ナ堺ヲ具シテコザルヤラシレヌ、ユノ堺ユヘニ、文殊ハ釋

尊ノ師匠也、コレナレバ、カンヅ付法藏ノ初祖トナルニ、
タラザランヤ、今稱一コウシタ片ハ、摩訶迦葉バカリ、付法
藏ノ弟子チヤ、文殊ハ中々入ラヌ、恐是レ迦葉ニカキラバ、
小乘聲聞ノ法、一途テゴザルカ、一途ハ前ニ二途ヲフム
堂頭和尚慈誨云上ノ方ハ知レタ通り、又言文殊一、文殊ノ
結衆ト云ト、通シ云トテハナイ、如來ノ背ノ痛レタ時分、如
來ニ代テ説法ナサレテ、付嘱文殊トアル、一意ノ説チヤ、非
常途之説、常途ノ時ハ阿難迦葉チヤ、況乎一、文殊結集云テ、
大乘ニ限ラス、小乗ノ教ユル行フ人ト、ソノ道理トフ、知ラ
ヌトハナイ、シカアレバ、大乘小乗凡ニ、文殊結集チヤ、迦葉
カ傳ヘタト云テモ、小乗ニカキラヌ、又阿一多聞第一テ、如

來一代ノ說法ヲ、ソラニ覺ヘテコサル、ソレユヘ結集サレ
タ、小乘斗リテナイ、大小二乘ニ、結集セラレタ、又迦葉ノ
法脉ヲツケテクルハ、如來一代化度ヲナサル、ニ迦葉ヨ
リ上ニスワルモノハナイ、十大弟子ガアツテ、一人一人ニ
藝ガアル、迦葉ハ残り九人ノ弟子ノ藝ヲ、ヒトリテ持テゴ
ザル、九人ノ徳ヲ兼テゴザルト云フ、宝積經ノ摩訶迦葉會
ニアルカ如シ、ユヘニ最勝一イツチ、スケレタ祖ト云フ、縱
難付ト文殊ニ付シテモ、コノ疑ガアル、ナセナレバ、文殊ハ
諸佛ノ師チヤモノヲ、釋迦ノ弟子ニナツテ、付法藏ノ祖ニ
ハ、ナゼナラレタカト疑フナリ、直須ソノ様ナ、用ニタ、又
疑フ以サルナ、如來ノ法ハ、向シタモノト、信知シテ居ルカ

ヨイ、彼此ノ疑ヲサル、ナ、永祖ハ聲聞カラ、傳ヘタユヘニ
カルカロウト、思ハレタカラ、尋子タモノ、大キニヲシカリ、
ナヤ、
堂頭和尚、夜參ノヲ咄シ走ナ、元子ソナタハ、椅子ニ居テ
襪ヲ付ケ様ヲ、シツタカ、道元、存マセヌ
堂頭和尚、椅子ニ居テ着襪法ハ、右ノ衣ノ袖ヲ以テ、足ヲ
カクシテフム、コレハ聖僧ニ無禮ナルヲ免ル、ユヘ也、
無礼ハ福壽ヘル、福ト壽トハ、人々具テアル、コレガ三宝ニ
無礼スルト、福モ壽モヘル五百問經ノ中ニ、一老人カ寺ニ
參リ、門前ニ相ヲミル人アリ、ソノ所ニ行テ休息シケレバ
人相見カイ、様ニ、ヲ前ハ長壽ノ相カゴザル七八十年マ

テハ、ウケガイマスト云々、ソレカラ寺ニ參リ、杖ヲ扉ノ画
像ニ、ヨセカケテフイテ、アチコチ一見シ、ソレヨリ、又ソノ
人相見ノ所ニユキ、前來ハ過分ニゴザルト、辭ノ一礼ヲ申
暇乞スルニ及テ、相者云ク、ヲ待ナサレ、先程ノ相トハ、大
キニ相違致シ短命ノ相ニ變シマシタ辰、ナニゾ寺ニ參リ、
佛像ニソマツナ、ハナサレヌカ、思索ナサレテゴランゼ
イ辰イケレバ、老人云ナニモ、思イツキモナキガ、戸ビラノ
画像ニ杖ヲ集テライテアチコチ見物イタシタ、定テソノ
罰テ短命ニナリマシタデ、ゴザロウカトテ、懺悔シ供養恭
敬シケレバ、終ニマタ、八十年ノ壽ヲ得タリ襪ノ字ヲ日本
デシヌツ、外ヨマスル、履ヲム井ハ、襪ヲ下ニツクル輩

履ヲム辰ハ、日本ニハク處ノ踏皮也、艸履ヲハク時、襪子ヲ
ツケ子バナラヌト云、ハナイ、タビテスム也、ケレバ大小
用ニイクモノヲ踏テ、坐具ニ上ルハナラヌ、新フタビヲコ
シラヘテ今ノ襪子ノ様ニ、大小用ニイク片ハ、又イデイク
ガヨイ扱又ドウシテ、シタフツト、ヨマスルゾト云フニ、コ
レハ下ニフムクツト云、フトクツト同シ、文選ニ羅襪
コレモ、ウスモノ、シタフツ、
堂頭和尚、胡椒ノ、老人ニナツテ、血氣ノウス
ウ、ナツタモノハ、食シテヨシ、若輩ナモノハ、食フ、熱ガデ
ル、ソウ、スルト、天然ト五臟カ不和合ニナル、前ノ撮攬荔枝
ノ下ニツ、キ走ナモノ、下書ユヘニ前後ガアル、

堂頭和尚慈誨ニ云、不可在當風、六月頃ハ涼イヲ好ンテ、當風之處ニ在テ坐スルト風寒暑濕ノ四ツガ、外邪トテ、外カラコレヲ受ルト、中ルナリ、働ク片ハ、アタリハセ子片、坐禪シテヲル片ハアタル、

堂頭和尚、起於坐禪前ニ出タ、經行ノ下、經行軌ニ委シ、堂頭和尚、上古ノ禪和子トハ、達磨ヨリ已後ノ人ヲサス、皆著、褊ハセマイトヨム、衫ハ袖ノナイヲ云フ、今ノ衣テモ、袖ト云モノデハナイ、袖ト云モノハ物ヲ入ル、也、故ニ九クシテトメル也、趙州布衫七介、麻衣ノ下也、褊衫ヲ着ルニハ、褊ト云カアツテ、是レ腰ニツケル、ソノ上ニ褊衫ヲ着ル也、掃地煎茶ニハ、褊バカリヲツケ、對客ノ片ハ褊衫

褊ヲ着ル也、泉涌寺派ヤ、律僧杯ノツクルヲ云、間有、直褊ハ、今ノコロモ也、褊衫褊ヲ直ニトゲツケテ、衣屋ガ上ヲコロトイ、下ヲモト云也、今日、禁中ニ參ダイスル片、直褊デハ、麁抹ナユヘ、褊ト褊トヲツケル也、傳衣ノ作法アリ、室中ノ密授也、傳戒ノ片、ミナ直褊ハ麁抹ユヘ、褊衫褊子ヲ着ル也、律部ニ依テ考ルニ、僧祇支梵語、翻メ覆肩衣ト云フ、左肩ヲ覆フ也、右褊祖右肩也、左ニハ僧祇支ヲツケル也、ソレガ唐ニ渡テ、天竺ノ風デ、カタヌイダヲ、魏ノ宮人ガミテ、出家ノ右肩ヲ、カタヌイデ、裸ダガ、アラハレテ、見苦シイニ依テ、褊衫ヲ作テ、僧祇支ヲ兩方ニ着ル様ニシタ、コレガ古法デヤ、ソレヲ律家、身服ト云テ、ソシルハ非也、古法ヲシラ

又モノ、云トコロナリ、

堂頭和尚、不曾著、法滅盡經ニ、白袈裟、斑袈裟ヲ、ツケル
様ニナルト、如來ノ正法ガ、滅盡スルトアリ、斑ハ文章也ト
注ス、キリマゼノ、也、觀音普賢ノケツコウナ、美服ヲ着サ
シヤルハ、内徳ヲ表スル也、瓔珞經ニアル様ニ、如來ノ說法
ノ片ハ、十万モ二十万人モ、アツマラシヤル、ソノ中デ、大徳
ナ菩薩ヲ、麁相ニスルト、ソノ麁相ニシタ菩薩ノ福モ壽モ
減ルユヘニ、十地已上ノ菩薩ハ、麁相ニセヌタメニ、美服ヲ
ツケル也、ユヘニ菩薩方モ、アレハ文殊ヂヤ、普賢ヂヤト、知
ルナリ、コレハ向ノ者ノ、無礼セヌ様ニ、徳ヲ表シテカラ
ヂヤ、瓔珞モ菩薩ニ依テカワル、水晶ノ瓔珞モアリ、如意宝

珠ノ瓔珞モアリ、今時ハ徳ハ俗人ホトモナイ様ナモノガ
ナリハ如來トカハラヌ様ニ、美服ヲカサリテ出ル也、青黒
ヤ木蘭ハ如法色トアリテ、開山ハ如淨サマヲ慕フテ、一代
カ間タ黒衣也、木蘭ト云ハ赤イト黄トヲ壞ノアル色也、近
代ノ非儀ト云ハ、ナリフリノ、ウソト云フ、只管、法衣ハ九
条也、九条ヨリ北五条迄ヲ法衣ト云フ、隨衆ハ入衆スル片
ハ七条也、ユヘニ金剛經、飯食訖、收衣鉢トアリ、シカアレバ、
如來モ入衆ノ片ハ七条也、托鉢ノ片ハ九条也、城邑聚落衣
ト云ナリ、コレハソノ主人ニナツテ托鉢スルユヘ也、說法
衣氏云也、五山杯ハ小僧小沙弥マテモ、スキリ九条ヲカケ
ル也、澆末ノ致ストコロ也、如無、證據ハナイ様ナ、如淨、

入衆ノ片、法衣ハツケヌ、世尊一代、如來一代カ間、アラ布
 ノ僧一衣ヲ着ク、大衣ノ一也、不着餘ノ斑衣等ハ、着ケラレ
 又、又不可一シトテ麁末ナ、キタナイナリヲスルナ、麁惡ノ
 衣ハ婆羅門也、外道也、稱一此云麁衣也、維摩經、二ノ弟子品
 ノ中ニ出ツ、キタナイナリスル外道ナリ、然則一佛祖ノ兒
 孫ハヨイホトニセイ、着テヨイ様ナラ、ツケルカヨイ、不可
 執一營一、今時分転衣テモシタモノハ、ケツコウナ袈裟ヲ
 切テ着ルハ、君子テ無ク、俗テ云小人也、ナセナレバ、糞掃衣
 ハ迦葉ヤ如來ノ蹤也
 炷香一、金襴ノ袈裟ト云アリ、麁布ノ袈裟ト云一アリ、コレ
 ヲ、經者ヤ律僧ハ金襴ノ袈裟ト云ハ、禪宗ノ作タモノト云

コレハ一向ニ、袈裟ヲシラヌユヘ也、惣別佛衣伝ハ、永祖ノ
 思召デ云フ片ハ、袈裟ハ人々ガケルデ、アロトモ、時ノ宜ニ
 隨テ、絹ニテモ、布ニテモスルケレ、本、袈裟ト云ノモノノ、
 絹デモ布デモ無イ法ノ全躰チヤ、タトヘテ云ヘハ、コウシ
 テヲルモノガ、人間テモ猫デモ犬テモナイ、ナセナレバ、地
 獄ト云モノハ、瞋恚ト相應メ、ソノ業カテ、地獄ニナツノヲ
 ル、人間伝モノモ、五欲ト相應シテ、ノノ業カテ、人間伝モノ
 ニナツテヲル、ソレヲ地獄ト見、人間トシルハ、未暗ラヤニ
 チヤ、高眼ヲ著ル片ハ、犬ヲミテモ、地獄ノ衆生ヲミテモ、人
 間ヲミテモ、毘盧一ノ堺トカワラヌ、コウシラル、片ハ、犬
 モ授記ヲエタト同一、地獄ノ衆生モ授記ヲエタト同一、コ

ノ道理ユヘニ、袈裟ト云モノモ、無相福田衣ナレバ、ナンテ
ナリ也、コシフヘヌト云フハナイ、絹布ノ差別ハナイ、然ル
ヲ律僧ノ麻バカリデ、コシラヘルト云ハ、アサバカリニ、目
カツイテ、善哉解脱服、無相福田衣ト云ニ、氣力付ヌ、善哉
服ト云片、一切惡業カモヌケル、ナンテモ解脱セヌト云フ
ハナイ、無相一衣云片、無量ノ善根波羅蜜ガ、コノ袈裟ノ中
カラ涌テ出ル、向シテ見タ片ハ、善哉解脱服ト云ハ表、無相
福田衣ト云ハ裏、又無相一衣ハ面テ、善哉一服ハウラ、コウ
ヲモテ、ウラト、一枚ニシテ、ドチガウラヤラ、面テヤラ、ンレ
ヌ、コレガ佛祖正傳ノ袈裟デ、コノ功德カ、人々カケル袈裟
ニ具シテラル、今日釋迦如來ノ像ヲ作ルト、直ニソノ功德

カ中ニアル、達磨ヲ作ルト、西來意カ中ニアル、無道心トモ
ノハ、切テ下駄ニスル、本ハ木シヤケレ也、コレヲ釋迦ト思
フテ、相好ヲ作テ、禮拜恭敬スルト、一切罪ヲ滅シ、一切ノ福
ヲ生スル、コノ眼一ツデ、佛祖正傳シタモノ、ソレユヘ、無相
福田衣、スガタガナイ、シカアレバ、布テモ絹テモ無イ、コウ
眼ヲ開テ、袈裟一度搭ルト、一超直入如來地ノ堺也、我々上
ヘニ具ヘテラル、コ、ニ氣ガツクト、ケサニ好ミハテキヌ、
如來ノ堺ニナルト、金襴ヲ上ゲテモ、金襴チヤトハ見ヌ、又
今日ノ凡夫ノ、能太夫ノ様ナナリシテ、人ニ見セルノトハ
チカウ、如來ノ堺デハ、金襴デモ糞掃デモ、同シ施主ノ供養
ヲ、ウケサシヤル、瓔珞經ニ覆蓋天子ガ、如來ニ金襴ノ、ケサ

ヲ上タリアリ、ソレヲ如來ノ、カケサシヤツタデアロウ、如
來ノ方デハソノ献上スル志ヲ、御ウケナサル、ケサノヨ
イワルイハナイ、糞掃ヲモウケサシヤル、袈裟ノヨイワル
イハナイ、開佛眼ミレバ、無相福田衣デヤ、コノ金襴ノケサ
ヲ、迦葉ニ授ケサシヤツタハ、四十九年ノ内、ドノ時代デゴ
サル、イツチ入ル也、佛法相續スルモノカ、コレノシラ子
バナラヌ、ユヘニ御尋ナサル、
堂頭和尚、イツチヨイチヂヤ、上ノ方ハシレタ、乃善
知識ニナツテ、アレガヲレニ、尋子走ナモノトクルシム、ソ
ノ證據ニハ、我曾、雪竇、如淨ノ先師へ參ジタモ、因縁
ヲ舉テ示シ也、ツウシテコレバカリデナイ、入室シテ法

ノ骨髓ヲ、究メウトスル衲子ハ、心ニコレハ合点セ子バ、ナ
ラヌトト思フ、師家ノ室ニ入テ決擇スルガ、參禪問道
入室チヤ、ユヘニ清規ニモ、入室ト云フアリ、ワレヒトリ入
テ听ク也、演説トハチガウナリ、演説伝ハ大勢集タ衆人
ニ云フ、ユヘニ畧シテ合点スルモノモアルケレ、凡ソレテ
ハ、初心ナモノ、為ニナラヌ、ユヘニ心一盃ニ申スナリ、演
ハ水ノ流、水ノ流ル、様ニ路サヘアレバ、流レテイク
也、今ノ講談ノ也、演説デト、カヌモノハ、入室シテ、師家
ノ寐テアル處ニモイツテ、我合点シテアル通リヲ云テ、ヨ
イカワルイカラ吟味シテモロウ、好ト云トコレガ印可也、
上ト下ト、アハ子バナラヌ、向フノ云タマテ、ラケバ、書物

デモシル、ナリ、ケレバ、ソレデハナラス、故ニ入室スル也、
入室シテモ、夜更ケテマタキ、ノコシモアレバ、アトデ請
益スル也、コノ入室請益ノ作法ト云カ、乃達磨大師ノ正傳
ナリ、ユヘニ問法伝ハ、中々シニクイ也、永祖ノ傳衣ノ時節
ヲ、トハシヤルニ依テ、時ハイツゾナレハ、世尊ノ最初ニ衣
法ヲ授クトアレバ、八萬衆前テ拈花ナサレタレバ、迦葉ガ
ヒトリ悟ラレタ伝ハ、必定シテ外道悟カラ始タリ、根本カ
ラウツジヤ、カラ歴々ノ祖師ガ、コノ様ナリヲ云フ、無門關
トトカ第一伝ナリ、ユヘニ宋朝已下ノ祖師ニ、ロクナモ
ノハ、一リニリチヤ、如來ハ迦葉ニ、アハシヤレヌ、已前カラ
知テゴサル、三世通達ユヘ也、迦葉ハ辟支テ縁覘ナリ、聲聞

ト云ハ、佛ノ說法ノ聲ヲ聞テ得道スル、縁覘ト云ハ如來ノ
出サシヤレヌ片ハ、十二因縁ヲ初メカラ、觀念ンテ悟ル、佛
ノ說法ヲマタヌ也、無師獨悟ヂヤ、佛ノ出ヌ時、獨リ覘ルユ
ヘニ、獨覘ト云フ、ソノ徳ト云ハ、イヲウ様モナイ徳ナリ、縁
覘ト聲聞ト隔タノハ、百石モトル旗本ト公方ト、ホドノチ
ガイナリ、ユヘニ聲聞ハ縁覘ノ神通ヲ、ハタラカシヤルヲ
知ラヌ、コノ迦葉ハ佛出世已前ニ悟テゴザル大徳也、釋迦
ノ佛法ヲ听テ合点シタテハナイ、釋迦ノ出世ナサレタリ
ヲ听テ、サラバヲレハ十二因縁テ覺タ縁覘デコソアレ、如
來ハ万徳圓滿ノ尊躰ユヘニ、イツテ御弟子ニナロウヨト、
思召テ出サシヤルヲ、如來ノソレヲシラシヤレテ、ソバノ

弟子ニ仰セラル、ニハ、今日迦葉カコラル、アレハ大徳
ナ人チヤニ依テ、アレカ迎ニ出様トテ、多子塔前迄出サシ
ヤレタ、多子塔ト云ハ辟支佛因縁經ト云ガアル、ソノ片ニ
子共ヲ大勢持ツタモノ、起タユヘニ、多子塔ト云也、ソコ
ニ如來ノ出サシヤレタ、最初見迦葉ト云ガ、多子塔前ノ
一ヂヤ、乃チコ、デ傳法ナサレタナリ、隨侍シテ傳法ナサ
レタデハナイ、過去カラ大因縁テ知テゴザル、即佛ト佛法
ト云ハ、正法眼藏涅槃妙心チヤ、金ラント福蓋天子カラモ
ラワレタ袈裟ヲ、迦葉ニ傳ヘラレタ、傳法傳衣一時ナリ、為
ト也、天童ノ正傳ハコウジヤ、ソコデコノ金ラン衣ヲ、迦葉
ガカケテ、イクロウトイヘ氏、左ニハアラズ、コノ袈裟ハ彌

勒ヘトリツギ也、ソレユヘ迦葉ハ、入滅セズニ鷄足山ニ引
込デゴザル、彌勒ガ出世ナサル、ト、渡シテ滅盡定ニイラ
ル、コノ彌勒ヘトリツギノ、問答アリ續傳灯ノ廿五卷ノ
佛鑑ノ章ニ出、佛鑒ハ圓悟ノ相弟子也、彌勒ヘ使僧ニイキ
ソウナモノハ、迦葉ノ外ニナイ、迦葉イツチ上足也、未曾ト
夜ルモ、子サシヤレヌ、四種ノ臥法ト云トアリ、屍臥法ハウ
ツブケニ子ルト、媼臥ト云ハ仰イテ子ル、非法シヤ、三左脇
臥ト云ハ、左ヲ下ニシテ子ル、コレハ經中ニ、三惡道ニ墮ス
ルモノハ、左ヲ下ニシテ子ルトアリ、右脇臥法ハ、善道ニ生
ル、モノ右脇ニ臥ストアリ、右脇ニ臥スト、子テモ功德ニ
ナル、寐テヲツテモ、三寶ヲ存念スルガヨイ、マタ寐ラヌ内

ニ佛ノ名號一返、陀羅尼ノ一返モ、十六尊者ノ名号一返ナ
 リ、トナヘテ寐ルト、子テモ惡夢ヲミス、コウ晝夜三寶ヲ
 存念スルガ、出家ノ作法ナリ、迦葉尊者ハ、ヨコニ子サシヤ
 レヌ、ユヘニ繩床ト云ヲ持テユサル、コレハ椅子ノ様ナモ
 ノヲコシラヘテ、繩テクム也、行脚スルキハ、松ノ下ニライ
 テ、坐睡スルナリ、常戴佛衣、ウケ取タ佛衣ヲ頂戴シテ、作佛
 想、先ニ云ノ通りノ、高イ道理ガ、ヲ袈裟ノ上ニアル、一切
 煩惱ノ盡タ堺ハ、善哉、脱萬德圓滿ノ堺ノ、アラハル、ハ、
 無相、衣ナリ、コノ堺カ袈裟ノ上ニ具テアルユヘ、如來ト
 少モカハラヌ、ユヘニ佛想ヲシ、塔想トハ舍利塔ノ、舍利
 ハ如來ノ骨シヤ、身心舍利、本地法身ガ、袈サノ上ニナル、シ

カアレバ舍利塔ト同シ、シカアレバ、袈裟ヲトツテ、チヨ
 ツトイタミクトソコニモ佛法カ現成スル、摩訶、獨覺ノ、
 古佛ト云、アリ、古ノ佛ト云、今淨祖ノ古佛ト仰セラ
 ル、ハ、定テ過去カラ、如來ノ堺デアロウト、ホメサシヤル
 也、世尊、分半座ノ、付法藏經ニ出ツ、コノ古蹤カ、曹洞宗
 ニ殘テ、首座ト云、ヲ立、半座ヲ分ツナリ、迦葉、迦葉ハ金
 色ナリ、ソノ金色ノ上ニ、卅相ヲ具シテ、佛ニ二相タラヌ、烏
 瑟ト、烏瑟尼沙ト云、螺髮ノ、也、肉髻トテ、如來ノ頭ハ髮デ
 ナシニ、肉ガ塔ヲ、モツタ様ニ、高フナリテ、出テ、居ル、故ニ
 烏瑟尼沙ヲ、高顯ト翻ス、頂骨相、云フ、無邊身并カ、竹杖ヲ
 以、如來ノ頂相ヲ、ハカツテ、ミヨウト思フテ、一丈六尺、竹ヲ

切テ、ソウシテ、後ロカラ、クラヘテ、ミラレタレバ、コシマデ
竹カアル、ソレカラ、マタ倍シテ、クラベテモ、コシマデアリ、
ノチニハ、梵天マテ上ラレタ、ケレバ同ト云トアリ、如來
ノ塚ニナルト分量ハナイ人々ノ塚モ、コレシヤ、大小ノ量
ハナイ、ナセナレバ、牛ノ食クフノモ、蟻ノ砂糖ナメルモ同
ト、大小ノ量ハナイ、コレヲ成就サレタラ如來后如來ニ分量ハ
ナイ、佛阿毘曇經ト云ガアル、ソノ中ニコノ三千大千世界
ノ一切衆生ノ善根功德ヲ、アツメタ片、如來ノ毛一本ノ功
徳ホトアルトアリ、普文、觀彌ノ四菩薩方モ、ソノ中ニ入レ
テ、コレホドノトジヤ、ソノ毛ガ八万四千アル、コレヲ一ツ
ニシタ片、八十種好ノ一好ノ功德ホトアル、ソノ一好ノ功

徳ヲ、百倍アハセタ片、卅二相ノ一相ノ功德ホトアル、ソノ
一相ノ功德ヲ、千倍アハセタ片、白毫相ノ功德ホトアル、ソ
ノ白毫相ノ功德ヲ、百倍アハセタ片、烏瑟你沙ノ功德ホト
アルトアリ、コレホドナ、重イトユヘニ、迦葉ニ白毫烏瑟ハ
ナイ等ヂヤ、ケレバ卅相ハ具シテゴザル、所以佛ト迦葉
ト双ンデ、スハラシヤルニ、人間モ天上モ、ウラヤマシカツ
テ、見ントヲ好ムナリ、凡神通一六神通ヲ具メ、神通第一ノ
目連ニモ、ハヂカ、セル、智慧ハ般若、如來トカハラヌ、四禪
三昧、大慈大悲ヲ具シテ、ナンデモヲトラヌ、付法藏經ニア
ル通り也、一切一八万四千ノ經論ヲ、如來ノ迦葉ヘヲ渡シ
ユヘ、無所一カケクトモ、減タトモナイ、然則一、コウシタ道

理ユヘニ、迦葉一始ニ云フ通り、佛ニ見ルキ、佛衣佛法ヲ、エ
サシヤルナリ、コレガ天童正傳ノ口訣也、他派ノ坊主ニハ、
キカセトモナイ、コノ口訣ハ永平ノ下ニバカリアル下、然
レバ永祖ノ兎孫ニナル伝ハ、一生ヤ二生ノ大因縁テハナイ
拜問一、天下ノ勅住デ、ウツサシヤル寺ガ、四ツ分ル、徳ガア
レバ、天子カラ請待也、日本モ應勅請トアレバ、永平、惣持ハ
勅住也、支那デハ、四色ノ内ニ、器量ナ仁ヲ、ヨバシヤル、コレ
デミレバ、震旦九宗ノ僧トアリ、ノコリノ宗ハ、勅住ニナサ
ル、様ナ、寺院ガ出来ヌ走ナ、日本モ本ハ八宗ナレバ、一向
宗、ヤ法花宗ヤヲ集テ十宗ト云也、ケレバイツチ、禪宗、真言、
天台ガ重イ、ノコリハソレホドニナイ、法相三論ハ、南都ニ

アリハスレバ、ナニヤラシレヌ、徒弟院ト云ハ、日本テ無能
ナモノヲ、徒弟坊主伝、コノトシヤ、官位ヲセヌ、盲人ヲ徒弟
目暗伝コレナリ、禅院伝ハ佛祖ノ兎孫ユヘ、少林ノ面壁ヲ
單傳シテ、工夫辯道ス、一大藏ヲヲツトツテ、今日行フハ面
壁ヨリ外ニナイ、八万四千ノ經論ハ説ナリ、ユヘニコノ道
理ヲ説クモノ、面壁伝行者ヨコナシヤ、コノ片説ハ一字一点イラヌノ
コリノ宗ハ、コレヲシラヌ、正法眼藏一心云ガ、面壁ノ名ジ
ヤ、留在一禅ニコモツテヲル、○誠是一如來カラ、ダン々々総
領カラ惣領ヘ傳ヘテ、ソレカラ分レテ、ソノ居リ處ヲ、禅院
ト云フ、達磨ノ片カラ、禅院伝名ハナイガ、ノコリノ宗旨ニ
對シ、天子カラ付ラレタ名也、○支離也教ノ律ノ云ハ、ミナ

支離シヤ、支ハ人、五躰ワカレテヲルノヲ支伝、木ノワカレ
タヲ枝ト云フハ、ハナレテヲルヲ支離伝、三院ハ三ナ、手足
ノ様ナモノ、ソノ中ニ禅院ハ、ム子ノ内ノ様ナモノ、ユヘニ
コノ達磨宗ト、肩ヲ齊シテ、對論スルヲハナラヌ、○教ハ天
台ノ教ト觀トニツナリ、四教集儀ト云ニアリ、一代時教ヲ、
四ツニ分テ、四教伝藏通別圓也、藏伝ハ小乘、通トハ大小共
ニ通ル、別教トハ小乘ト通セヌ別シヤ、圓教伝ハナニモカ
モ、ヲツクルメテ、一ツニスル、コレヲ四教ト云、三觀伝ハ空
假中也、空觀トハ、ナンニモナイト觀スル、假觀伝ハ、カリニ
アルト觀スル、中觀ト云ハ空一假トヲ取テ、空ニモ假ニモ
落ヌヲ云、コレヲ三觀伝、コレヲ天台ノ教觀伝也、○智者ノ

智者ノ隋ノ陽帝カラ、下サレタ號也、謚號デハナイ、ソノ師
ハ、誰ゾト云ニ、○獨為一惠思禅師ハ、佛法中ノツハモノデ、
有ガタイ尊宿也、コレカラ法ヲ傳授、○稟兼一稟ハ吳音デ、
ボンノ音、漢音デビンノ音、リンノ音ハ義ガチガウ、ツイテ
ウケルヲ稟兼ト云、○三止一止觀ノ二字ヲ、三止三觀伝、三
止ト云片ハ、空ニツイテ散乱ガヤム、假ニツイテ、散乱ガヤ
ム、中ニツイテ、散乱カヤム、三觀云片ハ、空ニツイテ、昏沈ニ
墮セヌ、假ニツイテ、昏沈ニ墮セヌ、中ニツイテ、昏沈ニ墮セ
ヌヲ云、コウ止ト觀ト三ツ分ル、ユヘニ三止一云、○得法
花一コノ三止三觀、一ツニナルヲ妙伝、コノ坐禅ノ仕様ヲ、
法花三昧ト云フ、法花ニコウシタ道理カアル、妙伝片ハ、空

デモ、假デモ、中デモナイ、絶言絶慮ノ處ヂヤ○旋陀一法藏
ノ旋渡ノ頌ト云カアル、旋渡伝ハ、フカヒ淵ノ、四方カラ、水
カタマツテ、ドコガソコヤラシレヌ、海デハコレヲセト云
フナルセノ、舟カソコニイクト、クルタトメグツテクル、
川デモ深イキハ、水カメクル、コレヲ旋渡伝也、ウツマクモ
云也、今ハ渡ヲ除テ旋バカリヲ云、陀羅尼ハ惣持ト翻ス能
登ノ惣持寺ガ、本真言宗、常賢律師ガ瑩山ニ進セラレタ、ユ
ヘニ曹洞宗トナレリ、コノ陀羅尼ニ一字、多字、無字等、ノ三
ツアリ、如來ノ秘密ノユヘニ、凡夫ハ知ルコトナラヌ、ユヘニ
密印伝、一印一明伝テ、陀羅尼ニ一ツ毎ニ、印カツイテアルナ
リ、旋陀羅尼伝ハ、ソノ陀羅尼ノ功德ガグルタト、ウツマク様

ニ、一切ノ佛法ガ一ツニナル、ナニガ一ツニナルジナレバ、
善惡邪正、煩惱菩提、ミナソコニイル、萬法一枚ニナル、コレ
ヲ法花三昧モ云フ、コレヲ得サシヤレタ○可謂一論ノ
文也、或一師家ニ逢テ、佛法ヲ听カ子バ、合点ガイカヌ、又知
識カナイ片ハ、經卷ニヨルユヘニ、或一卷也、開山ハ天台ユ
ヘ、經律ニ暗イコトハナイ○道元徧一、三藏伝内ニ、經ト云ハ
スツキリ坐禪ノコトヲ、トイタモノ、經トナノツイタニ禪ヨ
リ外ノコトハナイ、律ト云ハ戒ノコトヲ、トイタモノ、論伝ハ
善惡邪正ノ智恵ヲ、ミカクコトヲトカシヤル、然レバ經律論
ノ三ツガ、戒定惠ノ三學也、ソレヲアレコレノ、經論ノ見解
ヲ、出サレタヲミルニ、智者禪師カ、○最一イツチ、勝レタ、○

光前一前ヲ照シ、後ニハ出ヌ、ソノ師匠ノ南岳ハ、○稟法一北齊トハ世ノ名、漢魏、晋、宋齊トツ、イテ、コノ齊カ、東一北一トワカレテアルゾ ○根本禪ハ、初禪二禪三禪四禪ヲ根本禪云、世間禪也、コノ四禪ヲトツクト、ヨウノミコマ子ハソレヨリ上ノ禪ガ知レヌ、ユヘニコレヲ根本禪ト云、○惠文一善知識ノナイ片ハコウジヤ、コチノ達磨ノ様ニ、迦葉カラ阿難ト、ダン々々嫡々相承スルトナシテモ、胡乱ナ一ガナイ、コノ惠文ノ頃ハ、師匠ガナイ、ユヘニ惠文ノ後シロ手ニ、中觀ヲトリ當テラレ、コレヲ三世佛ノ授ケラレタノシヤト思テ、コレニ依宗旨ヲ立サシヤレタ、ソノ中觀論ノ中ニ四句ノ偈アリ、因縁所生法、我說即是空、亦名為假名、是名

中道義トアリ、因一云ハ、因縁ニ依テ、生スル法ハ空ジヤ、金剛ノ如露亦如電ト同一デ、マア空ジヤ ○亦名一云片ハ、マタコレヲ假一名ル、カリナモノ、是名中一云ハ、空ト假ト斗一デナイ、空デモ、假デモナイ處カラハイテ出ル、空ニモ假ニモ、落ヌヲ中道ト云、コレヲトカシヤレタヲ、中觀論云、コレカラ中ガ大事ト云也、叡山テハ、根本中堂杯ト云テ、建ルナリ、ケレ一氏、達磨正傳デハ、イワヌ一シヤ、コレハ一念ヲンジントテ、因縁所生法云ハ、一念起タ所念ノノ念一ツヲ、三ツニ觀スルノダヤ、達磨正傳デハ不起一念デ、起ヌ已前ヲ見ル、ユヘニ、コノ様ナ、マワリ遠イ一ハイラヌ、ユヘニ、台家デモ、禪ヲ知ヌモノハ、常住名目ノカノハ一斗リニカ、ツテ

居ル、マタ禪宗ト名ノルモノモ、本來無一物云テ、因モナイ
 果モナイト云ハ、外道ニナル、マハリ遠イ天台家ニ、フミソ
 コナイハナイ乃至、○未遇一一心三觀ヲ立テ、モ、龍樹ノ
 方カラ、イカニモ走シヤト、印可云ハナイ、達磨正傳ハ面授
 ダヤ、佛法ハ、面授デナケレハナラヌ、作タ書物ヲ合点シ羊
 ナラバ、七佛ノ偈ガアルソレデ合点シタラバ、七佛ノ嗣法
 ラスルガ、面授デナケレバ、法ヲ嗣ク云ハナラヌ也、玄光
 ヤ天桂ハコガ云フヲ知ラヌ也、法ハ授受云テニツアル、惠
 文杯ハ、手マイカラ受タ斗テ、龍樹ノ授ケハナサレヌ也、况
 乎一イマ禪門ニハ、百丈ノ立タ規矩、○僧伽藍摩此云衆園
 大衆ノ居リ處○屋一イヘ造リ、用イル處モ、^{イラス}否處モ、次ハホ

トリ、○口訣云ハ書物ニ書テワタサヌ、口デ云テキカセル、
 ユヘニ、達磨門下デ、口訣云カイクラモアル、コレハ師資面
 授テナケレハ、口訣ハナラヌ、口訣ハ密授デ、ソバカラシラ
 ヌ、天台宗ハ、口訣ガソナハラヌ、○今天下一、天台宗ニ十六
 觀堂ヲ建ル○彼ノ十六觀者、觀無量壽經云ガアル、ミダヲ
 觀シテ極樂往生ヲ願フ○此經一○偽カ疑カ字カシレヌ
 ○天台一一心三觀云モノハ、高イモノダヤ、妙ノ道理ヲ、説
 シヤレタモノユヘニ、○豈等一淨土ノ極樂ヲ願フモノハ、
 十六觀スルトハチカフ也、○彼者一十六觀ヲ彼トス、帶權
 トハ天台家ノサバキニ、四十餘年、未頭真宗トテ四十餘年
 カ間、真宗ヲ頭ハサシヤレヌ、ユヘ權方便ヲ帶テラル云○

此一一心三觀ヲ此トス、顯宗トハ一超直入如來地ノ法ジ
ヤ○天地一帯權ト、顯宗トハ、天ト地ト隔ル、水ト火トノ様
ナモノ、コレホトチガウ也、○想是一推量スルニ、○大宋一
大宋ノ學者ガ天台ノ中道宗相伝フ、シラヌニヨツテ、十六
觀ノ權方便ヲ用ルガ、本法ヲシラヌ、似合ヌモノト、シカラ
シヤル、一心三觀ヲ知テ、ヲラバ十六觀ハイラヌモノ○明
知一コウシテ見タホハ、支那ノ教院伝ハ、佛在世ノ儀式ヲ
傳ヘハセヌ、達磨正傳ノ口訣伝ハ、スツキリ佛在世ノ儀式
コレヲ嫡々相承スル、衣食住ノ三ツハ揃ヘテ傳ル、ユヘニ
スツキリ、達磨ノ二祖ニ傳授ナサレタ、ユヘニ寺院ノ格式
モ、傳授ナサレタ也、○迦葉摩騰竺法蘭コノ衆モ、天竺カラ

支那ニ渡テ、寺院ノ格式モ傳テゴザツタ、天台已前ハ、コノ
衆ガ傳テ、來タヲ傳タデアロフ○律院一律院伝ハ四分律
伝テ律僧也、南山ノ道宣トテ、歷々綿密ナ尊宿也、コレモド
フシタモノカ、ハジメ作ラレタ書物ト、後ニ作タ書物ト、違
却カアル、鳳潭モ呵ル、開山モウケヤワシヤレヌユハカ、袈
裟ノ卷ニ呵シテアリ、○濫觴トハ、始リ伝字ノ一ヲ一伝フ、
濫ハウカベル、觴ハサカヅキ、コノ字ハ孔子ノ家語ニアリ、
カラニ大江伝テ、大ナ江カアル、船テナケレバ通レヌ、ソノ
上ミハ、ビン山カラ涌テ、ソノ流ル入、口ハヤツト、觴キ浮ル
様ナ、細イ流レロ、シヤ、ソレガ下モデハ、フ子テナケレバ、ワ
タラレヌ、濫觴ハハジマリ、伝一也、○南山一、入天シタ人シ

ヤナイ○零ハソロワヌヲ零伝フ、ハシタニナツタ、零文
 ヲ見テ、宗旨ヲ立ラレタト云、道宣ノ感通傳ノ中ニ、天人カ
 來テイロ々々ナ、佛在世ノ一ヲハナシタ伝ヲ作テラカレタ、
 鳳潭ノ惡口ニ、エシレヌモノガキテ、南山ヲダマシタ凡云、
 手前デ作ゴトシテソレヲ、天人カラ傳授シヤ伝ト、ワルク
 チニ云也、○天人カラ絹袈裟ヲ用イヌ一ヲ傳授シタト、イ
 ハルレ凡、義淨ノ南海寄飯傳ノ中ニ、絹袈裟カケタ一ガ、イ
 クラモアリ、○設聞ノ南山ノ感通傳ノ一ヲ云○豈如ノ迦
 葉カラ、廿八代マデハ、十聖三賢也、コノ衆ノ親ヲ訓ヘラレ
 タ、道理ニシカレヤ、天人ガ來テ、法ヲキク一ハ、アロフケレ
 凡、天人カラ、教ヘラル、ハ、ナニヤラシレヌ、○今稱律院伝

一、堂舎殿屋鱗ノ如ニ次テ、櫛ノ如クニ連テ、結構ナムスビ
 カマヘタノガ作り様ガツマラヌユヘニ、○學者ノ疑フ也
 ○今稱ノ禪院伝ハ、天童徑山育王山伝ハ、天下ノ甲ハカシ
 ラノ義、○容衆ノ天童ナトハ僧堂ニ、千人モ居ル也、○屋ノ
 百ノ余モアル○前樓ノ知レタ通り、コノ儀式ハ、迦葉カラ、
 二十八代、面授シテ、傳ヘタ口訣ヂヤ○構可ノ、道リノアル
 様ニツクル、○實不可ノ、只ユタカニ、ヒロイ様ニ、スルデハ
 ナイ、佛法ノ行ヒヨイ様ニ作ル○朝參暮請モ定テ達磨ノ
 教ヘ、ラレタモノトミエル、○不可ノ經論師ノ依文ノ輩
 ニ比ル一ハトラス、コレヲ以テ正統トス也○道元所信ノ
 如來ノ出世ナサル、伝モ、必ス古佛ノ儀式ニヨル、手前ノ

私ハナイユヘニ、○世尊一日、阿難托鉢話伝カアル、コノ
トシヤ、托鉢ヲシテ、手前デ鉢ヲ持テ、アリクノハ、七佛ノ儀
式ジヤ、○然則七佛、七佛ノ法伝ハ、釋迦牟尼ノ行ハシヤ
ル法ト、チツヒチガワヌ、自余、尊者ハ證果ノ人ヲ云、廿八
代達磨マデハ、四果ノ聖者也云々、

本文ニ合セテ、シレテアル、畧シテ抄セス、根本ガ祇園精舎
ノ圖也、東福カ徑山ノウツシ也、微塵テモチカハヌ、佛法ノ
正嫡ジヤ、○更不可比、天台ノ教院ヤ、南山律院等ニ、ナラ
ベテ云、ハナラヌ、○譬如、達磨正傳ハ王ガヤ國ニ王ハ
ヒトリ也、○幸乞、筆談也、慈悲ヲ以テ照シテ下サレ、イ、咨
ハ下カラ殷勤ナ人ニ申シ上、諸氏書ク、ウカヅイ申シ上ル

伝、目ハ條目伝テ、イク色モアル、上ニ四ケノ院ハ、ナンノ
伝ガミナ條目也、咨目伝片ハ、目錄ノ通りヲ、ウカガヒ申上
也、裴廋カ三體詩ノ注ヲ作タ片、吾ヨリ重イ人ニ、見セル
ヲ、咨目トツカフタ、

堂頭和尚、○往古經律禪ト云ハ、ムダ名ヂヤ、○今稱、三
院ト稱スルハ、法ノヲトロヘタカラ起タ、○王臣、王モ臣
モ、シラヌユヘニ、額ヲ賜ニモ、教寺、律寺、禪寺ト、ワケテ下ナ
ル也、以下本文ノ如シ、○瑜伽ハ梵語、此ニ云相應、三密相應
伝、ト也、身口意ガ、カツクリト、アフタデ、ナケレハ、佛法デナ
イト、ヲシユルヲ、瑜伽僧伝ナリ、コレハ不空ノ遠孫、天竺ノ
坊主デ、唐ニ三度ゴザツタ、法系ハ龍猛龍智金剛智不空ト

ツ、ク也、不空彌勒ノ作ノ瑜伽論テ、宗ヲ立ラレタ、ユヘニ
 瑜伽僧伝フ○徒弟ノ傳法セヌ坊主ヲ云也、傳法スレバ瑜
 伽ノ、禪ノ、教ノ伝テ、師資カシレル、日本ニ云平僧也、傳法セ
 ヌユヘニ師資未詳也、○邊地ハ唐モ天竺ヨリミレバ邊地
 也、如來ノ王舎城ニ、齋ニゴザツテ、羅睺羅ニ應量器ヲ洗ヘ
 トテ、ワタサレタ、ソノ器ハ尾鉢也、羅睺羅ハ密行第一ノ人
 ナルカ、ドウシタカ、トリ落シテ、五ツニ破ラレタ、ソノ片如
 來ノヲレガ滅後ニ、佛法ガ五ツニ分ル、前表ヂヤト仰ラ
 レタ、ソレカラ、迦葉阿難商那和修マデハ一佛法ナリ、優婆
 キクタノ片ニナツテ、弟子ガ五人アツテ、五ツノ見ヲ生メ、
 五部ノ佛法伝ニナツタ、四分律、十誦律、僧祇律、五分律、コレ

ハ唐ニワタツテ、日本ニモアル、コレヲ四律伝フ、ソノ中ニ
 一部ハタラヌ也、コレヲバ、シヤフラ律ト云也、コウ五ツ、
 ニ、ワカレテモ、行ヒ様ハカワル、一ナイ一佛法ヂヤ、本文ノ
 通リシルベシ、○法儀ハ面壁ヂヤ○本府ハ惣府ノ一、正傳
 ハ國王ノ如ク、佛祖ノ法王、即位ハ律モ教モミナツカ子バ
 ナラヌ、
 堂頭和尚、五蓋ノ一ハ前ニアル通り、六蓋ハ別、有^ルデハナ
 イ、六番メノ蓋ヲ除ク也、六番メノ蓋ト云トキハ、五蓋ト無
 明蓋トナリ、コレヲ六蓋伝、末カラカゾヘテイケバ、第六番
 ノヲクガ無明蓋、根本ノ奥カラカゾヘルト六蓋ガ根本ナ
 リユヘニ無明ガイヲノゾケハ五蓋ヲノゾカラノゾク也

ソレヲ、マヘカラ、一蓋ニ一三トノゾイテ、根本ヲノゾカ
子ハナラヌ也。○未到佛祖ノ蒲上ノ功夫也、手前デ日用ス
ハル上ヲ、佛祖ノ修證伝也、人々坐蒲團上ニ安住メ、ドウト
ヲチツケバ、無明蓋ヲノゾク、除子バシレヌナリ、○道元ノ
アリカタキユヘニ、御礼申シ上テ、又手殷勤ニ白ス。○前來
ノマヘカタカラ、今迄ユノ無明蓋ヲ除クヲ兼ハラヌ、○
這リノ私シ斗リデナイ、七八十ニ、ナラシヤル、老宿方モ、一
ツニスハツテ、坐禪スル兄弟モアレ、コレヲシラヌ、ソレ
ユヘニ、又未曾ノ口デモイハヌ。○今日ノドウシタ幸カ、特
ニスクレテ、格別ニ和尚ノ大慈大悲ヲ蒙テ、○忽承ノマヘ
カタカラ、キカヌヲ承ツタ、○宿植ノ一生ヤ二生ノ幸テ

ハゴサラヌ、○但一六番メノ蓋ヲ除クニ、秘術ガゴザルカ、
トツテ、ヲキノ、大切ナ處ヲ兼リタイト也
堂頭和尚ノ○你向來ノソナタガ、今マテ坐禪シテノ功夫
ハ、ナニヲシテ、ヲリヤツタ、○這ケノ今迄坐禪メ、功夫ガ無
明蓋ヲ除クノシヤ、教者ハ無明ヲ除ハ、等覺ノ菩薩テ、ナケ
レハナラヌ伝、コレハ次第階級デ云也、佛祖正傳伝ハ、ソノ
デナイ、階級ノ片ハ、走モアロフ、五十二位ト、階級ヲ立ルト、
ノコル煩惱ガアツテ、タゞモノナウナルホド、上ニアガツ
テ、五十二位ノ妙覺果滿伝ニナルト、一切ノワルイノガナ
フナルケレ、氏、コノ正傳ノ如來禪伝ハ、一超直入如來地デ、
如來カラ、淨祖マデ、五十代伝ハ、階級ニヲチヌ處ガ、達磨正

傳ヂヤ○直指一直指トハ、ソナタノ、ソノ善惡ノ子ンガ、ヲ
 コルノガ、ソレシヤト、直グニ指ス、單傳トハ、カザラヌ、師資
 一枚ニナツタ、イマ單傳ノ片、中々利口ハナイ、師家ノ非思
 量ノ堺ノ、利口ノナイヲ以テ、弟子ノ非思量ノ堺ノ、利口ノ
 ナイ堺ニ、カヅクリトアハスル、コレガ六蓋ヲハナレ、五欲
 マデ、クヅレテ、ノク處ノ法也、呵ストハ、五欲云ハ尤ナ_レテ
 ナイト、五欲ヲシカル也、○身心一_レ身ノ脱落ノ片ハ、四大ガ
 ナ_レナル、心ノ脱落ノ片ハ、五蓋ガナ_レナル、○此外一_レコレ
 ヨリ外ニハナイ
 拜問一_レ文章ガツ、一_レテヲラヌ也、論語ノ様ナモノデ、前ヤ
 ラ后ヤラシレヌ、前ニ出タ_レヲ重問ナサル、也、法衣云ハ

マア金襴ノ九條ヨリ上ナリ、コノ住持已來カケヌヲ、コ、
 ロ入_レハ、ナントシタ_レデゴサル、
 堂頭和尚一_レ儉約トハ、シハイ_レデナイ、我身ヲツ、シム_レ、
 ケツコウナナリヲセズニ、手前ヲウス_レスル_レヲ云フ、向
 ノ人ニ、モノヲ少_クス、クレル_レヲ、ケンヤクトハイハヌ、ツレ
 ハ_レ悵惜也、儉約ハタトヘバ、我モツテアルヨイ袈裟ヲ、人ニ
 ヤツテ、我_レハワルイノヲ掛ルヲ云、儉ノ字ハ、細也少也ノ
 コ、口、ホソイ_レ、約ハシ_メメテ、モノヲツ、マヤカニスル
 一_レ也、法苑珠林ニ儉約ノ篇云ガアル、如來ノ弟子ニモ、薄拘
 羅尊者ヤ、迦葉尊者ハ、少欲デ、人ノモノヲホシガラヌ、知足
 ト、コレデヨイト、足_レヲ知テアル少欲知足ガ儉約也、○佛

及弟子法苑珠林ニアル如來モ、ソノ弟子ノ迦葉モ、薄拘羅
 モ、ミナ糞掃ヲツケサシヤル、ハ儉約ナリ、金襴ヲカケテ
 ソコニデルト、身ノ徳ヲ外ニ、アラハス様ニアルユヘニ、淨
 祖ハ、黒衣ヲツケサシヤル、サテコノ糞掃ノ鉢盂ト云ハ、人
 疑フ也、コレハ疑ニ及ハヌ、天竺ニハ外道ガ木鉢ヲモツ
 テ、ソレガハグルカ、ヒビガスルト、捨ルユヘニ、川ノ近所ニ
 流レテヲル、ソレヲ拾テキテ、用ルヲ云、○道元又曰、諸
 方ノ長老ガ、金襴ヲカケルハ、身ヲウスルスルデナイ、マタ
 貪欲ニホコツタノシヤ、ヨイ袈裟カケタト、自謾スルハ少
 貪也、財寔ヲ貪ルハ大貪ナリ、○但如、宏智古佛ノ法衣ヲ
 ツケサシヤレタガ、コレハ身ノツ、シミデナイト、イハレ

マイ、中々コノ堺ハ、ソバカラシレヌ、
 堂頭和尚、宏智ノ法衣ヲツケサシヤルハ、結句儉約也、貪
 欲デハナイ、貪念ヲハ、ハナレテゴザル、法衣ヲ着テ、出サシ
 ヤシヤルカ、身ノツ、シミ也、○又是、道德ノアル尊体ユ
 ヘ名聞デハナイ、以下本文ノ通り、コウ仰セラレタレ、永
 祖モ、日本ヘ皈リテモ、黒衣ヲ着ケサシヤル、開山ノ法衣ガ
 永平寺ニアル、黒衣ナリ、懷葬モ同ク黒衣也、徹通モ同シ、瑩
 山、我山カラ金襴衣ヲカケテゴサル像ガアル、淨祖ノ時代
 ノ長老ノ分ハ、スツキリ内所デ金銀ヲヤツテ、勅號ヲモロ
 フテ、大寺ニ出ル様ニ、シダガツテヲル、輩斗リ也、
 堂頭和尚、羅漢伝ハ、四果ノ聖者也、支佛ハ縁覺、○着味ト

ハシツカナ處カヨイ、コ、ガヨイト、坐禪ノ味ニ、トリツク
ヲ、著味ト云、坐禪ノ行李ハ、念々上ヲ不昧ニ照シテイク、ソ
レヲソコニ、コリ堅ツテアルハ、丁度蟻ノ砂糖ニツイテ味
フテソコヲハナレヌ様ナモノ。○闕大イ度衆生ノ大悲カ
ナイユヘニ、○不同一衆生無邊誓願度ヲ本トニシテ、坐ス
ル禪トハチカウ、佛祖ノ坐ハ、一時坐スルト、十方法界ノ衆
生ガ、一度ニ利益ヲ得ル也。○西天一九十六種、ランツマリ
ハ、ミナ坐禪スル也、雖然一三ツワルイコガアル、著味前ニ
在ル通り、邪見因果撥無シ、斷常ノ見ニ落ル等也。○憍慢ハ
外道ガ、チツト過ルト、人ヲアナドル、佛法ハ身心脱落デヤ、
コレナレバ身脱落スルト、我人衆生壽者見ハ、クヅレテノ

ク、心ヲ脱スルトトシヨク、瞋恚愚癡慢ハ、クヅル、也外
道ハ我ヲ先ニスルコヘニ、憍マンガアル也。○又聲聞一上
ノ羅漢ノ處カ、詳ニナイユヘニ、マクデル也。○於諸法一諸
法ノ中デ、利益ノアル處ノ、般若ノ智恵ガヒラケヌ故ニ、万
法ノ家相ニ通セヌ、諸法家相伝ハ、如々不動ノ塚、コ、ハ大
乗ノ菩薩デナケレハ、ナラヌ也。○獨善一手前斗リハ、善
ヲスルユヘニ、成佛ノ期ガナイ、ユヘニ諸佛ノ種カ、ナウナ
ル、ソレユヘ、佛祖ノ坐禪デハナイ、○謂佛祖一コレカラ、佛
祖正傳ノ坐禪ナリ、衆生無邊誓願度伝カ、初發心、煩惱無盡
一斷、一切ノワルイコヲハナル、願集一法門無量一學也衆
生一度ガ根本ユヘニ、坐禪スル内ニモ、衆生ヲ忘レヌ、ソレ

ユヘニ捨テヌ也○乃至一蛄ハ有足無足一切ノ虫ノ惣名ヲ蛄ハ常給一今ハナルマイケレハ生々世々ガ間ニハ度シテヤロフト云大慈悲ヲクワヘテ濟度スル一ヲ願フ也○所有一朝カラ晩マデスル功德ヲ一切衆生ドコマテモアリトアラユル衆生ニ回向スコレカ今日正傳ノ坐禪也衆生ヲ捨テヌノヂヤ度スル大願ガ満子バ成佛ハナラヌ○佛祖一三界ハ色無色ニハナンニモ愁ル一ハナイユヘニ菩提心ヲ起サヌ無色界ニハ斯陀含須陀洹ノ様ナ人ガ生ル也コノ上ノ二界ニハ苦シイ一ハナイタゞ欲界ニ生レタモノニハ韋提希夫人ノ様ナガアリテ菩提心ヲコスソレユヘ佛祖ガ欲界ニライテ坐禪辨道ナサル也○

欲界ノ中デモ南セン部洲ハカリガ最勝ノ因縁ガアル殘リノ三州ハ壽命ガ長イユヘニ無常ヲ觀スル一ヲ知ラヌ閻浮ニ四種ノ最勝ガアルソレユヘ佛モ閻浮ニ斗リ出世マシマス○世々々生ルタビ死スルタビ一切衆生ヲ助クル功德ヲ修スルソウシテ心が柔輒ニナル云柔ハ剛ノウラ竹ノ子ヲ咬ム様ナラ剛云豆腐クウ様ナラ輒云柔輒云ハヨハテナ生レツキ馬方ヤカゴカキハ強勢ナソコニ女人ノ出タ様ナハ柔輒シヤ道元白云ドウイタイタラバ心ノ柔輒ナ様ニナリマセウ堂頭和尚一身心脱落スルト踢倒サレテモハラハタヌ心ガ脱落スルト口惜イト思フ心ガヲコラヌ人モ我モナ

イ、ソレユヘ三毒ハクツレテイク、コレガ乃柔輓ノ心シヤ、
 コ、ヲ佛祖ノ心印ト、ナシタモノヂヤ、ソコデ九拜ナサレタ、
 堂頭和尚一日本ニ永祖ノカヘラセラレテ、定テ伽藍デモ、
 建立ナサレウト、思召シテ、コノ様ナラテ教示也、支那デハ、
 寺方ヲ依ラズ、天子ノ庭ニモ鎮殿ノ師子伝ガアル、コノ師
 子ガアルト、豨狐ノ精魅ガキテ崇^{タム}ハナイ、日本デモ神前
 ニ、コマ犬伝テ師子ヲ、ク、コレモ邪神ヲ防ク為メナリ○
 法堂ノ法座伝、須弥ノ一南階トハ正面ノ一、和尚ノゴザル
 處ハ北、打向^{ウチムカヒ}ノ所ハ南シヤ、住持ハマシ中カラ上ル、侍者ハ
 両方カラ上ル也○東西一両方ニ二匹ヲク、○各向一階ニ
 向テタル也○但面少々、シレタ^ル一、○其色一白師子ナリ、コ

レハ、イツチ重イ色ノ師子シヤ、普曜經ノ中ニ、如來ノ誕生
 ナサレタ片、雪山ニ五百ノ白師子ガ生レタトアリ○全躰
 一スツキリ、白フ作ル、○淨祖一世間テ、コレヲシラズニ青
 髮ニスル也、獅子斗リガ清淨種也、ケガレヌ也、ナセナレバ
 清淨ノ中カラ出來ル也、持戒清淨、三學兼通シテ、チツク
 カレヌモノガ、ヒヨツト瞋恚ヲ起^ス、コレデハナラヌヲレ
 ガ王ニナツテ、アレヲドイト、クレフト云、ソレヨリ業力
 デ、畜生ニ墮スレ^ル、清淨行ヲ汚サヌモノユヘニ、キタナイ
 處ニハ落ヌ也、ソコデコノ師子伝フモノニナル、師子伝ガ、
 一切ノ徳ヲ具ヘタモノユヘニ、如來ノ徳ヲ人中ノ師子伝
 也、人間デ如來ヨリ、外ニ恐イモノハナイ、師子モソレジヤ

一切ノ獸ノ中デ、イツチヲソロシイモノ也、マタ師子奮迅
三昧云フガアリ、佛祖正傳ノ坐禪ノ名奮迅、ハイキライノ
ツヨイモノユヘ、身ヲフルウト、一切ノチリガ落テシマウ、
コノ三昧ニ入ルト、師子ノ奮迅スル様ニ、一切ノ惡業ガ除
ク也、師子ノ上ノ師ノ字斗リ梵語デ^{シツカ}云フ、密部ノ中ニ
名義集杯ニハ、僧ガヒト出テヲル也、今マソレヲ獅子トカ
イテ、利口ノスム様ニ、シタケレ^レ、譯シタノデハナイ、唐ニ
ヲラス、モノユヘ、譯セヌ也、翻譯ノナイ、梵語ト覺ヘテ、ヲル
ガヨイ、以下ミナ本文ノ通り、解スベシ、中ニ掛^ク鏡智惠ノ表
相ナリ、幢ト云ハ、立タハタ、幡ト云ハ下ニサカルヲ云、
道元咨目百拜、淨祖ノ迹作カ、イカイ^ト、アツタ走ナ、今時ノ

如淨錄ニハ、百部一モノラス、頌古聯珠集ニモ、イカイ^トア
リ、正法眼藏ノ中ニモアツテ、如淨錄ニノラスガアル、○末
上トハ、初ノ^ト、末ノ字ガ、始末云片ハ、スヘノ^ト、末云片ハ、始
ノ^ト、ハジノノ入り口云^ト、趙州錄ノ問答ニ、老僧末上ニイ
ル云ハレタハ、老僧ガ末始メニ入ル^ト也、○渾身^ト云ガ本
法^ト云、法ニカ、ツテ、風鈴ノ^トガ、チツ^レカケヌ、上手デナ
ケレバナラヌ^ト、渾ハ、スヘテ云^ト、身一ハイガ、口^トノ様ナ風
鈴ハイツモ、ノキ、ハニ、カケルユヘニ、虚空ニ掛ル云フ、擔
頭ノ窓前ノ云テハ、般若ニナラヌ、カケ處ガ、シレヌ處ガ、般
若、ドコニカ、ツタヤラシレヌナリ、落句ハ、轉句ノ^トヲ云、
一等云ハ、他ガ為ト云^トハナイ、二句メニ不問東^ト風トア

以四方ノ風ヲ、カマハズニ、般若ヲトク、一等ノ片、六凡四聖ノタメニ、一枚ニ般若ヲ談ズ、アルガコノ虚空伝ハ○可謂虚空色、虚空色ヲ謂ト、人が合点シソコナフ、○虚空色伝ハ青ソラノ一ヲ云、コノ南洲ハ須弥ノ南ノ方デ、瑠璃テ青イソレユヘニ、コノ世界ノモノハ、ミナ青イ、虚空モ青イ○癡イグチナモノハ○必一一定テ虚空色ヲ、イハントハ、ソラノ青イ處ニ、カ、ツテアルト、必定メ云フ○近代一佛法ヲサトラヌカラ、青天ヲコクウト云、コレトハ、私シハ別テコザルガ、○認青一青イ處ヲ認テコクウトスルハ、アハレマシイ、不便ナ一シヤ、

堂頭和尚一、謂虚空ハ、般若ニカ、ツテ、アルカラ、一等一伝

又、般若ニ十八空、二十空ト云カアリテ、翻譯ニヨリテ、チカフ、○所謂一ヲレカ云處ノ、般若ヲ虚空ト云ハ、又ガタガナイ、スカタノナイデモナイ、スガタガアレバ有碍、スガタガナケレバ無碍、今非有一伝片ハ、スカタガナイデモ、アルデモナイ○非偏一、真バカリニ、カタヨラヌ、ウラニ生滅ヲ、クンデラル、偏真伝ハ、二乗ノ真ヂヤ、ヲレガ云ノハ、色即是空ノ空ジヤ○諸方一スガタノアル、色法デモアキラメヌ、マシテヤ、色即是空ヲ、ドフシテ合点シ様カ○空伝片、般若ト眼ヲ著ル片ハ、渾身伝ハ入々コノ四大六根、コウシテ居渾身言ノ云ト同シ、六根カミナ言ヲ云フ、眼ハ色ヲ見、耳ハ聲ヲキ、鼻ハ香ヲ嗅キスルガ、スツキリ、言云フト同シ、コ

ノ塚ハ、ドコニモカ、ツテヲラヌ、行住坐臥、シバリツケラ
レヌ、朝カラ晩マテ、サマ々ノ、道リノ出ルノハ、スツキリ、般
若ヲ談スルノシヤ、コウ云フ眼テミルト、風鈴伝ハ、人々ノ
塚ノ、ソレユヘ、斷空デモ、偏真テモナイ、コノ偈一首デ、一
代藏經ノ惣名代ヲスル、
道元拜稟一ハ、白ノ字ト同シ○廣燈三十卷、李遵勗ガ作テ、
印板ニハナイ、續燈佛國ノ惟白ノ作テ、雲門宗ノ祖師シヤ、
コレモ三十卷、印板ニハアラス、廣燈續燈ハミナ寫本ナリ、
普燈ハ雷菴正受コレハ印板ニアリ、傳燈ニ載タノモ、ノラ
ヌモアリ、コノ中ニ偈頌ガイクラモアリ、○諸師別録ハ雲
門録ヤ、玄沙録、雪峰録、○以下本文ニシレタ通り○端直ハ

スグナ、子ツマクシタカナイ、ソノ心入伝ハ、面白テドウモ
イワレヌ、

堂頭和尚一右ノ儀ヲ仰セ上ラレタ片ニ、ドチヘカ、御イデ
ナサル、片ノ、デ、轎伝ハ今片ノ乘リモノ、一、肩ニノセ
テイクモノ、○拔群ハナミタニコヘター、○氣宇ハ、宇ハ天
地四方ヲ云ス大也ト注ス○你要一コノ様ニ作レト也、コ
ウハ、仰セラレタレ片、永祖ノハ、淨祖ノ文字ノハタラキト
ハ、半分モナラヌケレ片、ソノ道リニ到テ、淨祖ニマケター
ハナイ、永祖和韻廣録元二十丁、渾身是口判虚空、居起東西南
北風、一等玲瓏談已語、滴了東了滴了東、
堂頭一生死一、地獄餓鬼畜生ハ、メツタニ發心ナラヌ、タ

人間ニ生ル、ト、發心ガナル、求佛トハ成佛シタイト子カ
フ也、コウ發心スルト、如來ノ跡ヲツグ嫡子デヤ、發心シテ
成佛ヲ願フ衆生ハ、スツキリ佛子デヤ、法花ニアル様ニ、其
中衆生、皆是吾子、コノ片ハ、犬モ猫モ、虫ケラマデモ、慈悲ヲ
加ヘテ不敏ナト思フ片ハ、今コソナル、マイケレ尺、ソレカ
因縁ニナツテ、吾成佛シタ片ハ、化度ヲ受ン伝フハナイ○
及餘一發心求道セヌ、一切衆生モ、佛祖ノ方カラ、思召片ハ
子デ無イモノハナイ○雖然一無始無終ノ行願デヤ、コノ
譯ケテ、參得セ子ハナラヌ、端坐環中、虚白處、縱經塵劫、箇難
移ト仰セラレタ、コ、デヤ、人々コ、テ、シラ子バナラヌ、コ
レ一ツガ、三世佛ヲミル眼シヤ、

堂頭一坐禪ノ片、ハザトスルデハナイ、口サイスルト、自然
ト舌一也、○括一向齒ノフヲ板シ伝フ、一番ヒロヒユヘニ
云、ミヘヌ様ニスルヲ括云、○子ムラヌ、睡レバ目ブタノ上
ヘガ、下ニタル、也、目ツブテ、子ムラヌ様ナモノ、○閉一○
改右一右ノ足シテ、左ニライテモ、左ノ足ヲ右ニライテ、ト
リカヘテモヨイ、打坐ノ普説ニアリ○此乃一洞家ノ坐禪
ハ、嫡々面授デ、機鋒デスルデハナイ、佛ヨリ二十八代、達磨
淨祖マテ、五十代正傳デ、有證トハ、ナツ尺チガハヌ、
拜問日本テ、天台真言ノモノガ、ミナ禪宗伝ハ小乘伝テ、コ
レハ子昉ガ佛祖統紀ノ中ニ迦葉モ聲聞、阿難モ聲聞、達磨
モ聲聞シヤ、コレガヲシユル坐禪ガ、ナンノト云テ、ソシツ

タ₁ガアル、コレヲミテ、禪師ノ弘通スル坐禅ハ、ヨツホト、
小乘聲聞ノ法シヤト云、本朝トハ、ヤハリ宋朝ノ₁也、
堂頭₁、宋朝ヤ、日本ノ者ガ、ソノ様ニ疑テ、難スルノハ、○宗
佛祖正傳ノ大法ヲ、シラスノジヤ○元子₁、ヲシヤウシ
ラレ、○如來₁如來ノ正法ハ、大小乘ノ外ニ出過ス、如來ノ
方デハ、大乘テモ、小乗テモナイ、タ、衆生ノ機感ニ應メ、大
小ノ両乘トイフハアルユヘニ○雖然₁草ニ落テ、大乘ノ
機ノタメニ、方便ノ大慈悲也、○元子₁大小乗ヲハ子コヘ
タ片ハ、○大乘₁衲僧常ノクヒモノ、大乘ハ大ナユヘニ、七
枚₁小乗ハ、小ナユヘニ、胡麻餅三ツノ、様ナモノ○正傳ニ
代タ₁ハナイ、○况復₁佛祖ハ、根本カラ、○無空₁小兒カ

啼ク片ニ、拳ヲサシダイテ、手ノ中ニ、ナンソアル様ニシテ、
コレヲクレウカラ、ナクナト云ト、兎ハ宗ニアルカト思テ、
啼キ止ム、佛々祖々ノ大法ニハ、ソシナ₁ハナイ、○黄₁機
ニ隨テ、黄葉テ黄色ナモノ、黄金伝ハ、大判小判ノルイ、秋ノ
葉ハ黄金ニ似タ、黄金モ秋ノ葉ニ似タ、秋葉ノ入ル片ハ秋
葉、黄金ノイル片ハ黄金、輕キ片ハカルク、重イ片ハヲモク、
正傳ニハ、中比始₁、空拳杯テ、人ヲダマス、邪禪ノ様ナハナ
イ、ソレユヘニ、○拈筋₁飯ヲ喰片、ハシヲモチアゲルモ行
鉢ノ片、匙デクウモ、七枚菜餅、三枚胡餅カラ云、平生ノ家常
テ、家ノツ子ツヤ、ナニシヤ伝テモ、利益ニナラヌ伝₁ハナ
イ、シカアレバ、大乘小乗凡ニ、七枚ノ餅ヲクヒ、三枚ノ餅ヲ

クフト同シトユヘ、ナニヲシタ伝テモ空ク光陰ヲ度ルトハナイ、スツキリ、衆生利益ノ為ニナル
堂頭ト開山ノ坐禅ノ精ノ出ルヲ、ヲホメナサル、必聞ト
瑞相ガ三段也、坐禅メアル中ニ、ドコヤラ薫^ニラ^ニナウ、ヨイ
香ガ鼻ニ入ル、コレハ三世佛ノ來現カ、天帝カ來テ礼拜ス
ルカ、羅漢カ來テ隨喜スルカ、見ヘハセ子^ニ凡^ニ吉祥デヤ、○或
當面ト坐禅シテ居ル片ニ、油ノ天カラフル様ナガ、目ニミ
ヘル、コレヲ淨色伝フ、コレハマタ天人カラ、カンガキテ、カ
ン^ニロヲ^ニフラスノデヤ、○若發ト身ニ觸ル伝片ハ、身ガ盡ク
カルヲナル様ナトガアル、ミナ吉瑞也、以下ハシレタト、
堂頭ト聞思ト言クハ、ヲモワクノコ、ロ、今日コノ方ノ説法

ヲ聞ハ聞心ニコレハト、合点スルハ思デヤ、コノ聞思ト門
ノ外ニ、ナル様ナ聞思修、入三摩地ユヘニ、聞タラ心デ思惟
シテ、コノ下カラ、坐禅ニ入ル、コレガ三摩地也、コ、ハ飯家
トテ、内ノ家ニ、モドツテ、我居リ處ニ、スハツタラ云、楞嚴圓
覺ニアリ、一切經ノ根本也、三摩地ニ入タ片、聞思ハイラヌ
○行起テ解絶スル也、○所以ト文殊ノ四句ノ偈ガアル、若
人靜坐一須臾、勝作恒沙、七寶塔、寶塔碎成微塵、一念淨心成
正覺トアリ、スレハ一須臾、一念ノ坐禅伝ハ、菩提心成スル
也、イツモ云フ、刹那三昧ノ一、三十息ヲ一須臾伝リ、一息ヲ
六十ニ割テ、ソノ一ツヲ刹那伝、タツタコレホドテモ、功德
ノムクウシヤ、○今生六十五ト淨祖ハ六十六テ御遷化也

萬里ヲ隔テ、モ、無量劫來ノ大因縁デヒクジヤ、因縁ヲク
ラマサヌ様ニアレハ、ヨイケレバ、末世ハ利欲名聞ノ為ニ
嗣法スルユヘニ、法力衰フル也。

堂頭一坐禪時一シレタ通り、坐禪儀ハ長蘆ノ宗蹟ノ作也、
坐禪ニチカヒハナイ、要訣ハチガフユヘニ永祖ハ作りナ
ラサレタ、

堂頭一經行ノ一知タ通り、

堂頭一上ノヲ咄カラ出タ走ナ、○如來起從一義淨ノ寄歸
傳ニアリ、經行軌ノ聞解ニ委シ、○修短延促凡夫ノ煩惱
テ作ラヌ故ニ定カナイ、聖跡ジヤカラノ一、乃佛法一コレ
ガ佛祖正傳ノ關一、關ハ市ノ一、聒々ハ賣一買一、カシマシ

イ、須知今日一佛祖正傳テ、達磨ノ西來ナサレテ、應量器
袈裟、衣食住ノ三ツ、鉢ハ飢ヲヤメ、袈裟ハ寒ヲ防キ、コレヲ
アチカエ、持テ來テワタサシヤル、拳頭一ハタヲキ、鼻孔ハ
黙ヲ云、○亦乃一コレハ、タレデモ、ハカル一、ハナラヌモノ
ヂヤ、

堂頭一、大凡トハ、ヒロクカ、ル、坐禪ハ、コノ方斗リテスル
デナイ、四禪八定云モアツテ、○安心諸一鼻端ノ白ヲ守ル
モアリ、臍ノ間ニ心ヲラクモアリ、コレハ天台ノ小止觀ノ
法、胸中ニ八寸ノ月輪ニ、阿字ヲ觀スルモアリ、皆一處ガ定
テ鼻端ノ白ナド云定處ガナルコノ中、○安心一坐禪ノ片、
左掌ニ心ヲヤツテ、ハキニ散ラヌ様ニスルガ、佛祖正傳ノ

坐也、法界定印ヲ結フト、左ハ上ニ、右ハ下ニナル也、ユヘニ
左ニ安スル也、

堂頭、藥山、沙彌戒ヲ受テ、聲聞二百五十ヲ受ルト、聲聞
ノ沙彌也、沙彌戒ヲ受テ、菩薩戒ヲ授ルト、菩薩ノ沙彌也、
藥山ノ高沙彌者比丘戒ヲ受テ、佛祖正傳ノ佛戒ヲウケ
又デハナイ、○然搭、比丘ノ具足戒ヲウケヌモノハ、法衣
應器ヲ持ツ、ハナラヌケレバ、菩薩ノ沙ミテ、菩薩戒ヲウ
ケルト持也、○排列、坐スル片モ、沙彌ノ戒臘ニヨラヌ、菩
薩ノ、口フニヨツテ坐ス、○此乃、佛祖正傳ノ稟受シヤ、○
你有、ソナタワ、大法ヲ求ル、志操カアル、志操伝ハ、志シ
サホト訓ス、シンボウシテ、タモツテラル、○吾之淨祖ノヨ

イ弟子ヲ持タト、ヲヨロコビ、○洞宗、ヲレガ宗ハ、ソナタ
ニ、ウチマカセテラク、日本ニモツテイツテ、ドノ様ニモヒ
ロメラレイ、

道元、參禪學道ハ、古今ノ勝躅デコサル、○初心ノワカイ
片、佛法ノ道リヲ、ノミコンタト、思フ片ハ、道ガアル様ナ、○
集衆、老年ニナツテ、開法ノ片ハ、佛法ハナイ様ニゴザル、
若イ片、ドコデ悟タ伝テヤワグ、ソレガ死ルヤラ、ドウヤラ
シテ、ドコニモヲラス、ノチハ平僧寺ニイツテ婆ヤカ、ト、
茶入レテ吞デヲレモ若イ片ハ、遍參シタガ、老年ニナツテ
ハ、ドフモナラヌ杯伝也、○又初心、ワカイ片ハ、アレハナ
ンノ用ニタ、又伝モノガ、○開堂、老僧ニナツテ、演法ス

ルキハ、古人ヲ、ハ子コヘル志氣ガアラハル、モノガアル
○然則コレヲミタキハ、初心ヲ用テ、道ヲ得タモノトイタ
走カ、後ノ心ヲ用テ道ヲ得タト致ソフカ、
堂頭一須菩提ノ如來ニ、問ハシタト又、覺ヘテゴザツテ、○
你一ソナタガ、ヲレニ問フノハ、菩薩聲聞ガ、世尊ニトフタ
様ナ問ヂヤ、○所謂一ソノコ、ロモチハ、○若法一佛法モ
増モセヌ、煩惱カ減モセヌ、佛法ガ増ヌユヘニ、功德モマサ
ヌ、煩惱ガヘラ子バ、菩提ヲ得ルトハゴザラヌ、○唯佛一如
來ノ上ハ、不増不減デゴザロフガ○何關一菩薩行ヲ修行
スルモノハ、菩提ハ増シテ、煩惱ハヘラ子ハナラヌ、ソレユ
ヘ、不増不減デハ、ナリマセヌ、イヤテモ増減ガナケレバ、ナ

ラヌ、○コフ云フが大論ノ七十五卷ニアル、ソレニモヨラ
ヌ、○又西一、西天二十八代東土六代、乃至淨祖マテ、嫡々面
授ヌ、正法眼藏涅槃妙心テ、ヲシヘルトガアル、コレヲキカ
レイ、○佛々一○不但一初心デイクモノデナイ、又初心ヲ
取テ除ルデモナイ○為甚一ナセノバ、○若但一、始發菩提
心ガ、佛デハナイ、隨分、十信十行十回向十地ト、鍊磨メ、功德
ガ、ツマ子バナラヌ、○若無一ケレ尺初心ヲ取テ除テハ、第
二第三ノ心モ、アロフ様ハナイ○然則一十地、妙覺ノ位ニ
到ル辰ハ、初發心ヌ、根本トスル○初以一初發心ガソコニ
ヲツテハナラヌ、路ヲアリク様ニ、イカ子ハナラヌ、期辰ハ
十地ヲコヘテ、萬徳圓滿ノ堺ヂヤ、期ハカギリトスル、今

以目ノ前テ、タトヘテ、听セフソ、○譬如、アンドン燃ス
 様ナモノ、アンドンノ光明云ハ、焦炷ヂヤ焦ハコガル、炷
 ハ燈心、油ヲツケ、火ヲ点スルト、燈心ハ焦ル、光明ハマス、
 ○燈喻、燈ハ菩薩ノ光明ニタトヘ、○炷、燈心ハ、無明煩
 惱ノ焰ニタトヘル、光明ハ智慧デ、タツモノマシ、炷ハ煩惱
 テ、タツモノ減ル也、○恰如、丁度コレガ、初心ト相應トノ
 智慧ノ様ナモノソレユヘ、精ヲイダイテ坐ル程、煩惱ハヘ
 ツテ、光明ハマス、ソノ燈心ガノウナツテ、光明斗リニ、ナツ
 タ片佛堺也、○修、佛祖正傳ノ三昧ヂヤ、○相應、光明ノ
 アカルイハ、トウシンノ、無明ヲナウシナス、コレハ、○非初
 初デモ、後テモナイ、始カラ終リマデツツク、初發心時便

成正覺、タツガ初發心ヲ、モツテラル、ニツニワカレヌ、コレ
 ヲ一行三昧云、コレガ乃佛祖正傳ノ宗旨シヤ、
 建長、永平ノ百ケ日モ過テカラ、ソコヲノモノヲ、開テゴ
 ランナサレテ、コレヲ寫テヲカレタ、開山遺々書ノ中ニ
 アリテ、コレヲ書キ始テヲカシヤレタガ、マダアルカト思
 フ恨ヂヤ、カナシイコトシヤ、
 正安、開山遷化、四十八年過テ、○於越、寶慶寺ノ開山寂
 圓和尚、莽祖ノ嗣法也、百七ツテ御遷化也、開山コ、デハ
 寂圓ノ、存日ヲコレヲ、ヲガマセウト、イハシヤツタカ、○
 于今、タツモノ延テ、ヲソフナツタ、○今正、今コレヲ得
 タ、丁度輪王ノ髻中ニ珠ガアルソレヲ得タ様ナ、大幸、コ

レホド、仕合ナリハナイ、感涙襟ヲ沾スト也、

寶慶記聞解坤終

明治十一年六月十一日板權免許

講義 故 瑞方面山

定價三拾七錢五厘

筆記 鈿 斧 山

東京府平民

出版人 森江佐七

第二大區七小區飯倉町
五丁目三十番地

